

こども・若者会議 しんぶん

VOL.
7

令和8年
1月14日発行

いよいよ、 こども・若者会議最終回です！



だい かい きん
第10回 12/26(金)

おつかれさまでしたの会

毎回行っているお決まりの「チェックイン」からスタート。

「最後のチェックインか〜」と、しみじみとした声も聞こえてきました。その日の体や心の調子を腕の高さで表し、自分の状態と向き合いながら、みんなで共有しました。



第10回は、約半年間にわたって行ってきた会議の振り返りを行いました。

最初に、あらためて会議の目的を確認し、それぞれが「自分は達成できたかどうか」を考えました。

チームで活動を振り返ってみよう！



チームに分かれ、KPT法で活動を振り返ります。

KPT法ってなに？

KPT法は、

「よかったこと (Keep)」

「課題だったこと (Problem)」

「改善するためのアイデア (Try)」

の3つで活動を振り返る方法です。



ジャパスイチーム

「こども職業体験広場」を実施！



よかったこと (Keep)

- ポスターがうまくいった
- みんな笑顔だった😊
- 当日までしっかり準備ができた

課題だったこと (Problem)

- 参加者をもっと集めたかった
- 準備がバタバタした

改善したいこと (Try)

- もっと色々な場所に広報する
- 流行の出し物をする



うしとかげチーム

「うしとかげの秘密基地」を実施！



よかったこと (Keep)

- うしとかげの手作りステッカーを喜んでもらえた
- けがした人がいなかった
- チームワークがよかった

課題だったこと (Problem)

- ホールにおとなのひとが入ってくることが多かった
- 時間の管理をしっかりとするとよかった

改善したいこと (Try)

- 小ホールのおもちゃを増やす
- 参加者と会話をたくさんする



自分自身を振り返ってみよう！

チームでの振り返りを行ったあと、ワークシートを使い個人の振り返りを行いました。これまでの出来事を、真剣な表情で思い返していました。

参加前はこんな自分だった。

- ・進んで意見を言えなかった
- ・あまり人の意見を聴いていなかった
- ・人前で話すのが少し苦手だった
- ・自分のことを優先することが多かった

「わたしたちが幸せなまち」のために 自分ができることは？

- ・まずは自分が楽しく笑顔になる！
- ・家の周りのゴミ拾いや挨拶
- ・「何をしてもらったら嬉しいか」を考えて実行する！
- ・一人ひとりに寄り添って考える

約半年間の活動、お疲れ様でした！

最後にメンバーの一人ひとりに、いせみーととくちゃんから活動証が手渡されました。これまでの活動とメンバーの成長を思い返し、思わず涙ぐむスタッフの姿も。活動証を受け取ったメンバーは、達成感に満ちた、誇らしい表情を浮かべていました。



こども・若者会議は みんなにとってどんな場所だった？

- 自分の意見を言えて実践できる場所
- とても居心地がよくて、かけがえのない場所
- 一人ひとりが活躍できる場所
- 色々な子たちと友達になれる場所
- 安心できる場所
- 自分も、周りの人も、色々な良さがあることを再確認できた場所
- おとなが中心ではなく、こどもが中心になって活動できる場所

こども・若者会議を通して 感じたことや学んだことは？

- 自分の意見を堂々と言えるようになりたいと思った！
- こどもにも権利があることを学んだ。
- いつもメンバーやスタッフが寄り添ってくれて、意見も活発に言うことができた。これからは、自分が色々な人に温かさを伝えたい。
- ほかの人の意見を受け止めたり、聴いたりすることの大切さに気付いた。
- 自分の意見に自信がなくてもみんなが受け止めてくれた。学校でも自信をもって過ごしたい！



スタッフより

こども・若者会議を振り返って

今年度のこども・若者会議は、全10回にわたり、「わたしたちが幸せなまち」の実現に向けて活動を行いました。

「自分の意見を相手に伝えること」「周りの意見を受け止めること」を一人ひとりが大切にしながら、話し合いを重ねてきました。

時には、メンバー同士の意見がぶつかることもありましたが、回を重ねるごとに相手の気持ちに寄り添いながら対話を進められるようになっていきました。

2期生のチャレンジで、「わたしたちが幸せなまち」に近づくことができたのではないのでしょうか。

これからも2期生がこの経験を胸に、それぞれのペースでさまざまなことに挑戦していく姿を応援しています！

こども・若者会議にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

by とくちゃん